

JANOG54

マンガ海賊版サイト動向2024 -対策状況アップデート-

2024/07/03

石田慶樹

海賊版対策実務者意見交換会メンバー
海賊版対策 技術検証チーム

- マンガ海賊版サイト対策の概要

マンガ海賊版対策 技術検証チーム

概要

- 所属企業の理解のもとボランティアとして参加
- 海賊版対策実務者意見交換会の下部組織の位置づけ
- 2022年4月5日より活動開始

目的

- インターネットの自律・分散・協調の本質を守るため活動
- コンテンツ配信による利益がきちんと分配されるような仕組みを守る
- 各プレイヤーの果たすべき役割について声を上げる

活動

- 海賊版サイトの分析や解析
- 海賊版サイトの情報に基づきとるべき対策を模索

技術側メンバー

- 登壇者4名
石田慶樹@JPIX
山下健一@さくらインターネット
宮内秀輔@LINEヤフー
高見澤信弘@Jストリーム
 - 岡田雅之@長崎県立大学
- +α

これまでの経緯(JANOG52まで)

日付	出来事
2016年1月	海賊版サイト漫画村公開
2017年5月	漫画村運営者がCDNと契約
2017年6月	漫画村がCDNの有料サービスと契約
2018年2月16日	「インターネット上の海賊版対策に関する論点整理」(議事録非公開)
2018年4月13日	「知的財産戦略本部・犯罪対策閣僚会議」で海賊版サイトに対する緊急対策を決定
2018年4月17日	漫画村に接続できなくなり、事実上閉鎖した
2018年6月22日	インターネット上の海賊版対策に関する検討会議(第1回)
2018年10月15日	インターネット上の海賊版対策に関する検討会議(第9回)

参考：「漫画村による著作権法違反事件についてまとめてみた」

<https://piyolog.hatenadiary.jp/entry/2019/07/11/065313>

日付	出来事
2019年4月19日	インターネット上の海賊版サイトへのアクセス抑止方策に関する検討会(第1回)
2019年8月10日	漫画村運営者を著作権法違反の容疑で逮捕
2019年10月18日	「インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表」公表
2021年6月16日	漫画村運営者の判決が確定
2021年4月9日	「インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表」(更新版)公表
2021年11月4日	漫画BANK閉鎖
2022年5月31日	「インターネット上の海賊版サイト対策に関する現状とりまとめ骨子」総務省
2022年6月11日	「漫画BANK」運営者、中国で摘発&行政処罰が確定
2022年7月14日	JANOG50
2023年3月	「B9GOOD」の運営者が中国の公安局により刑事摘発
2023年5月22日	13dl.net閉鎖
2023年5月29日	ICANNにおいてRA, RAAの更新について意見募集開始 締切：2023年7月13日
2023年6月9日	「知的財産推進計画 2023」知的財産戦略本部
2023年7月05日	JANOG52

これまでの経緯(JANOG52以降)

日付	出来事
2023年7月13日	ICANNのRA, RAAの意見募集締切
2023年10月10日	IGF2023 in Kyoto Manga Culture & Internet Governance-The Fight Against Piracy
2023年11月28日	ICANN RDRS開始
2024年1月15日	大手サイトの一つ(一グループ?)が閉鎖
2024年2月~3月	量産型サイトの登場・増加(250以上のサイト)
2024年4月5日	ICANNのRA, RAAの改定版が発効(DNS Abuse対策強化)
2024年4月17日	漫画村元運営者に対して損害賠償を命ずる判決(控訴中)
2024年6月4日	知的財産推進計画2024
2024年7月3日	JANOG54
2024年10月17日	EUにおいてNIS2指令を国内法に移行する期限

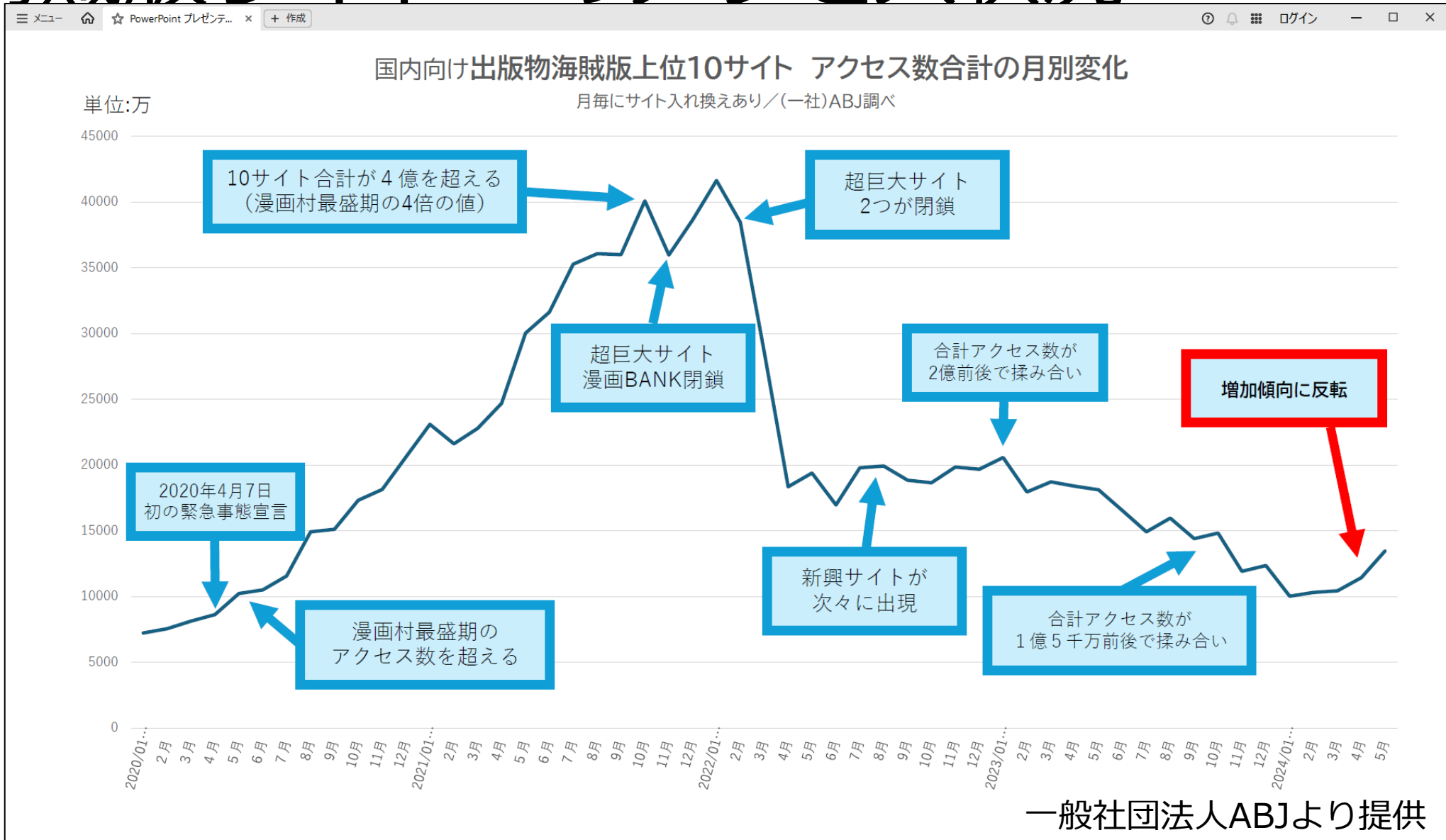
海賊版サイトの最新状況

- 巨大サイトの停止によりアクセスが減少
- 特定のグループによる量産型サイトが登場し成長する懸念
 - 同一内容のサイトを多数のドメイン名+CDNで提供
 - 画像の蔵置先は同一もしくは同一の画像を利用
 - 最新のマンガ画像に対するコピープロテクト(!?)
- 海外向けの海賊版サイトの対策も喫緊の課題

海賊版サイトへのアクセス状況

海賊版サイト、日本国内からのアクセス 2024年5月 上位10サイト月間アクセス数(一社ABJ調べ)						
順位	サイト名	URL	2024年4月 (単位=万)	2024年5月 (単位=万)	4月→5月 の増減率	態様
1			1,545	3,008	194.7%	オンラインリーディング
2			2,094	2,179	104.1%	オンラインリーディング
3			1,980	2,075	104.8%	ダウンロード/トレント
4			1,549	1,666	107.6%	ダウンロード/リーチサイト
5			1,169	1,187	101.5%	ダウンロード/リーチサイト
6			1,173	932	79.5%	オンラインリーディング
7			254	789	310.6%	オンラインリーディング
8			667	777	116.5%	オンラインリーディング
9			253	487	192.5%	オンラインリーディング
10			356	387	108.7%	ダウンロード/リーチサイト
上位10サイト 合計			11,040	13,487	122.2%	<p>今月は、前月4位のサイトが1位にランクイン(前月比194.7%増)し、今月新規追加し量産型サイトの代表格が7位にランクイン(前月比310.6%増)となっている。当月上位10サイトの合計アクセス数は13,487万となり、前月の11,441万から17.88%ほど増加した。</p>

海賊版サイトへのアクセス状況



海賊版サイトへのアクセス状況

日本の出版物海賊版サイト数の現況

2024年2月現在 / (一社) ABJ調べ

ABJが把握している出版物海賊版サイト数 = **1207サイト** (半年前からやや増加)

- ① そのうち日本向け = **294**サイト (8カ月前は240)
- ② 英語翻訳の海賊版サイト = **466**サイト (8カ月前は400)
- ③ 残りは、各国語に翻訳されたサイト = **447**サイト (8カ月前は460)

言語は、中国語、ベトナム語、韓国語、タイ語、インドネシア語、スペイン語、フランス語、トルコ語、ポルトガル語、ロシア語、イタリア語など様々

※日本語、英語サイトが少し増加

※言語別では英語翻訳が1位。日本語が2位。3位はベトナム語で173と非常に多い

一般社団法人ABJより提供

海賊版サイトへのアクセス状況

一般社団法人ABJ調べ
【出版物海賊版サイト】
日本人向けサイトで2023年(年間)にタダ読みされた金額

2020年年間＝約2100億円(2021年2月時点での推計)
2021年年間＝約1兆19億円(2022年2月時点での推計)
2022年年間＝約5069億円(2023年2月時点での推計)
2023年年間＝約3818億円(2024年1月末時点での推計)

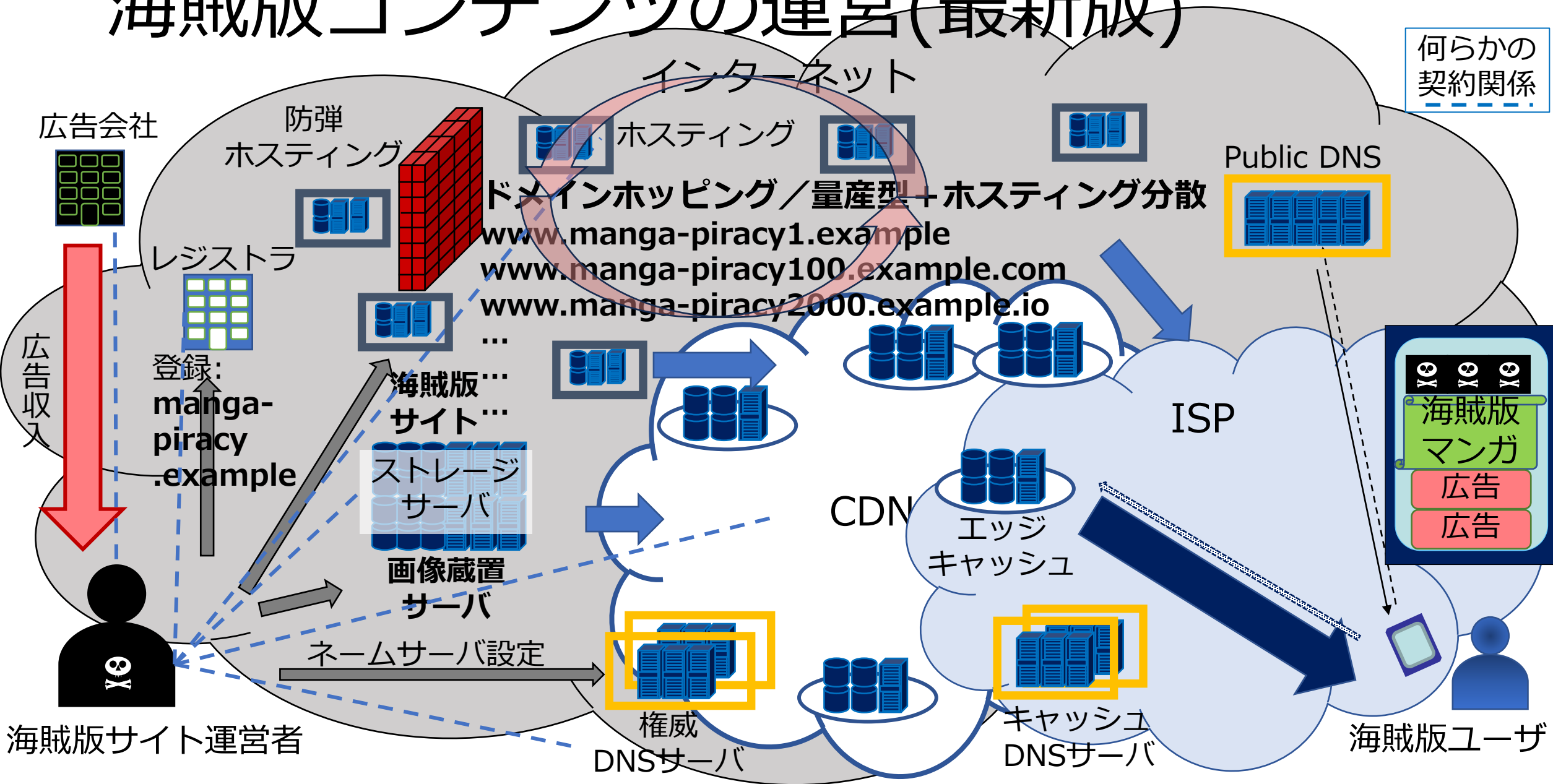
さまざまな対策を積み上げて、2022年→2023年で、約25%減を実現。
ただし2020年と比較して約1.8倍という残念な状況は継続中。

※あくまで「海賊版サイトでタダ読みされた金額」であり、正規の売上の減少額ではない
※コミックス1冊相当が海賊版で閲覧されたら、500円がタダ読みされた、と計算
※上位10サイトのうち計算可能なオンライン型サイトで推計。ダウンロード型や11位以下のサイトは含まれていない

一般社団法人ABJより提供

海賊版コンテンツの運営(最新版)

何らかの
契約関係



主要な課題への対策の進捗状況

- 出版社5社(KADOKAWA、講談社、集英社、小学館、スクウェア・エニックス)によるJPMAC(漫画界海賊版対策会議)の設立
- レジストラへの通知(RDRS)の利用とその対応状況の記録
- 海賊版対策に関するICANNやインターネットガバナンスの場での活動の進展
- 海賊版サイト対策への海外での取り組みの進行
- 海賊版サイトへの対応強化のための官民での国際的な協力体制(2国間および国際機関)を推進する必要性

IGF 2023 Kyoto WS #69

"Manga Culture & Internet Governance-The Fight Against Piracy"

- テーマ：
漫画文化とインターネットガバナンス、海賊版対策
- スピーカー：
萩尾望都、ニコル・ルマニエール、中谷安男、
村井純、福井健策
- 議論された内容：
 - 漫画文化のグローバルな受容とその影響
 - 海賊版が漫画家や産業に与える被害
 - 正規版の多言語対応の重要性
 - インターネットと産業界の協力の必要性
 - 聴衆からの意見
知的財産の理解と教育の重要性
正規プラットフォームの発展の必要性
- 結論：正規版の普及と多分野での協力が海賊版対策に不可欠



ICANNにおける RDRS(Registration Data Request Service)とは

- **目的:**
gTLDにおいて非公開の登録データをICANN認定レジストラに要求すること
可能とするサービス
- **対象となるデータ:**
ドメインに関連する連絡先名、住所、メールアドレス、電話番号などの非
公開情報
- **実施期間:**
コンセプトの実証機関としては最大2年間
- **目的:**
標準化されたアクセス/開示システムに関しステークホルダー間で合意可能
となるようなポリシー勧告を検討に利用

啓発活動について



<https://www.youtube.com/watch?v=fJZrmX9oWj4>

- STOP！海賊版キャンペーンの展開
 - 啓発活動のための動画による効果的なプロモーション
 - 新聞広告やSNSを通じた啓発活動の実施
 - 海賊版利用者へのメッセージの工夫とその効果測定
- 国際的な啓発活動のプランニングと協力の呼びかけ
 - IGF2023でも正規プラットフォームの展開と啓発の必要性について合意
- 海賊版撲滅のための各種メディアとの連携と広報活動

技術・検証チーム活動

- 技術的な観点からの海賊版対策の議論と検討
- 海賊版サイトの閉鎖に関する分析と調査が実施
 - 海賊版サイトの常時モニタリング体制を検討中
- 海賊版サイトの技術的な側面についての検証と報告
- バックエンドプロバイダやCDNの調査と技術的な検証
- 海賊版サイトのURLパスや運営者の分析

対策の現状

- やれることは何でもやっている
 - 国際機関への働きかけ
 - 海賊版サイトの技術的な分析・検証
 - 法的措置
 - 該当国での様々な措置
 - 海外での啓発活動
 - 適法コンテンツ配信の拡大
- etc

事業者の責務

事業者に問われていること

- 海賊版サイトを含む不正なサイト構築に自らのサービスが利用されないためにはどうすべきか？
- インターネット資源が不正に利用されないよう悪者に対してハードルを上げるためにはどうすべきか？
- 利用者の確認に責任を持つのか
- 取り扱っているコンテンツに責任を持つのか
- Abuse対応

「特定」の事業者があたかも共犯になっているかの状況が問題

- 安かろう悪かろうの事業者を利用して簡単にインターネット資源の不正利用が可能になっている
- そのような事業者の行いを改めさせる、もしくは退場させるためには？